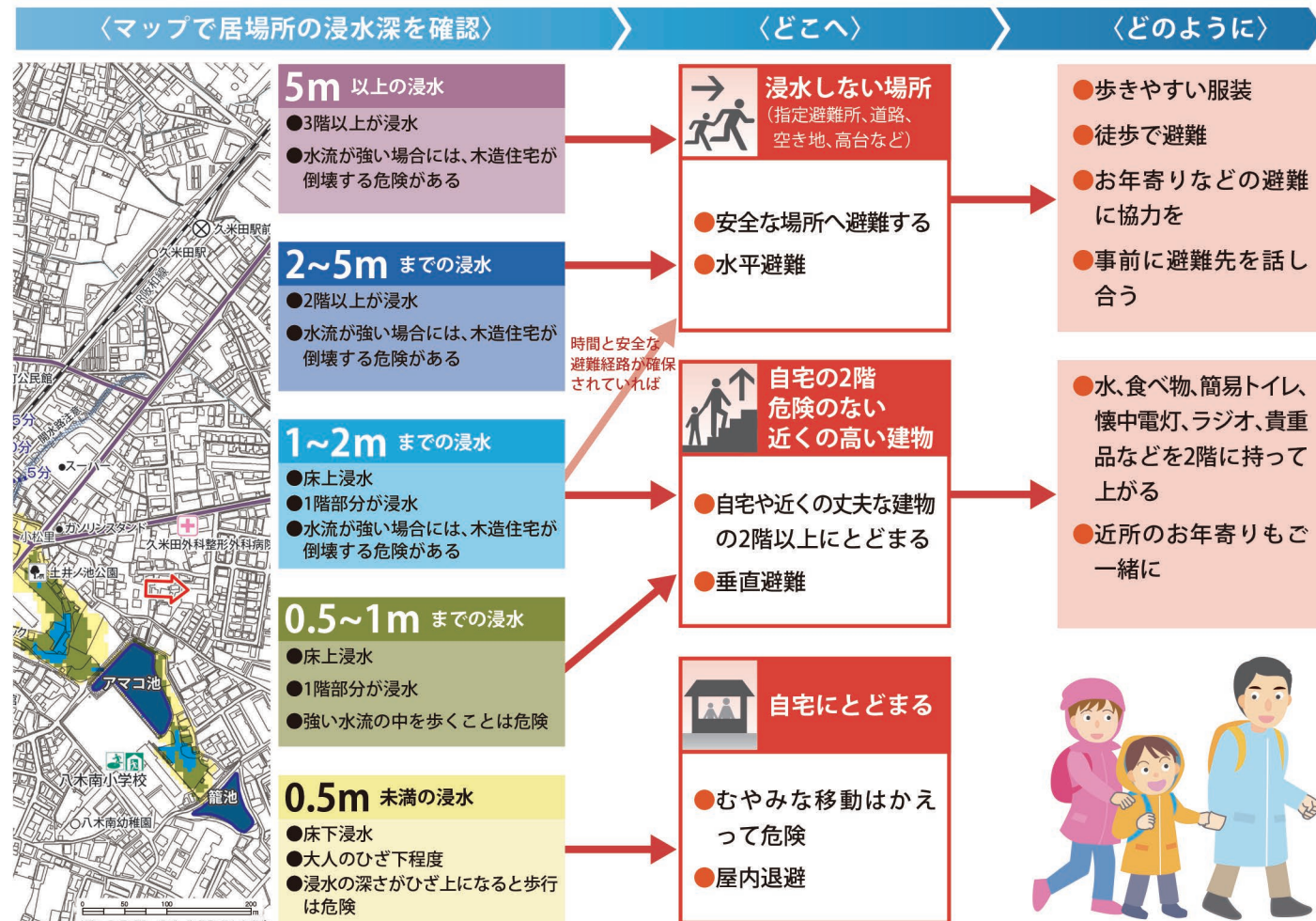


浸水の深さと避難行動（状況に応じた避難が必要です）

マップに示す浸水の深さを参考に、基本的な避難の仕方を考えましょう。



ため池が決壊すると短時間で浸水する場合があります。身の危険を感じたら早めに避難して下さい。

避難への備え

備蓄品・非常時持ち出し品を備えておきましょう。

- 生活用品**
- 懐中電灯
 - 携帯ラジオ
 - 電池
 - ナイフ
 - 缶切り
 - ローソク
 - マッチ・ライター
 - タオル(大・小)
 - ビニール袋
 - 歯ブラシ
 - 携帯電話(充電器)
- 貴重品**
- 現金(公衆電話用10円玉)
 - 預金通帳・印鑑
 - 健康保険証・免許証
 - カード類
- 緊急医薬品**
- 消毒薬
 - 脱脂綿
 - 包帯
 - ガーゼ
 - バンソウコウ
 - 常備薬
 - お薬手帳
- 衣類・防寒具**
- 下着類
 - 衣類(長袖)
 - 軍手(手袋)
 - 防塵マスク
 - 防寒具
 - 雨具
 - 毛布・寝袋
- 水・非常食(7日分)**
- 水(1人1日3ℓ)
 - 非常食(乾パン、缶詰、レトルト食品など)
- その他**
- ヘルメット(防災ずきん)
 - 筆記用具(油性ペン)
 - 生理用品
 - おむつ
 - 粉ミルク・哺乳瓶

情報の入手先（避難に備え早めの情報収集を心がけましょう）

インターネットによる情報入手先

おおさか防災ネット(大阪府・市町村防災プラットフォーム)

気象情報(警報・注意報)や地震・津波情報、台風情報などを得ることができます。

PC <http://www.osaka-bousai.net>

携帯 <http://www.cds.osaka-bousai.net/mobile/kishiwada/>

防災情報メールサービス

災害が発生したときに、登録メールアドレスへ災害情報を配信します。いざというときのために、左記ホームページにアクセスし、登録しておきましょう。

QRコードで簡単アクセス



緊急速報メール(エリアメール)

岸和田市域において、大規模災害が発生したときやその恐れがあるとき、気象庁や国・地方公共団体が配信する「緊急地震速報」や「津波情報」、「災害・避難情報」を市域の皆さんに一齐にお知らせするサービスです。受信設定が必要な場合がありますので、対応機種については各携帯会社のホームページより確認をお願いします。

岸和田市公式Facebook・Twitter

岸和田市では市のイベントやお知らせなどの情報を積極的に発信し、災害時に迅速な情報提供を行うために、岸和田市公式のFacebookとTwitter利用して情報発信を行っています。

岸和田市公式 Facebook

アカウント名: 岸和田市役所
アカウントURL: <https://www.facebook.com/CityKishiwada>

岸和田市公式 Twitter

アカウント名: 岸和田市役所
アカウントID: @CityKishiwada
アカウントURL: <https://twitter.com/CityKishiwada>

運用時間

平日の午前9時～午後5時30分までとします。ただし、年末年始(12月29日～1月3日)のFacebook及びTwitterが運用を停止している期間を除きます。なお、この時間帯以外にも必要に応じて投稿する場合があります。

祭都きしわだ
岸和田市

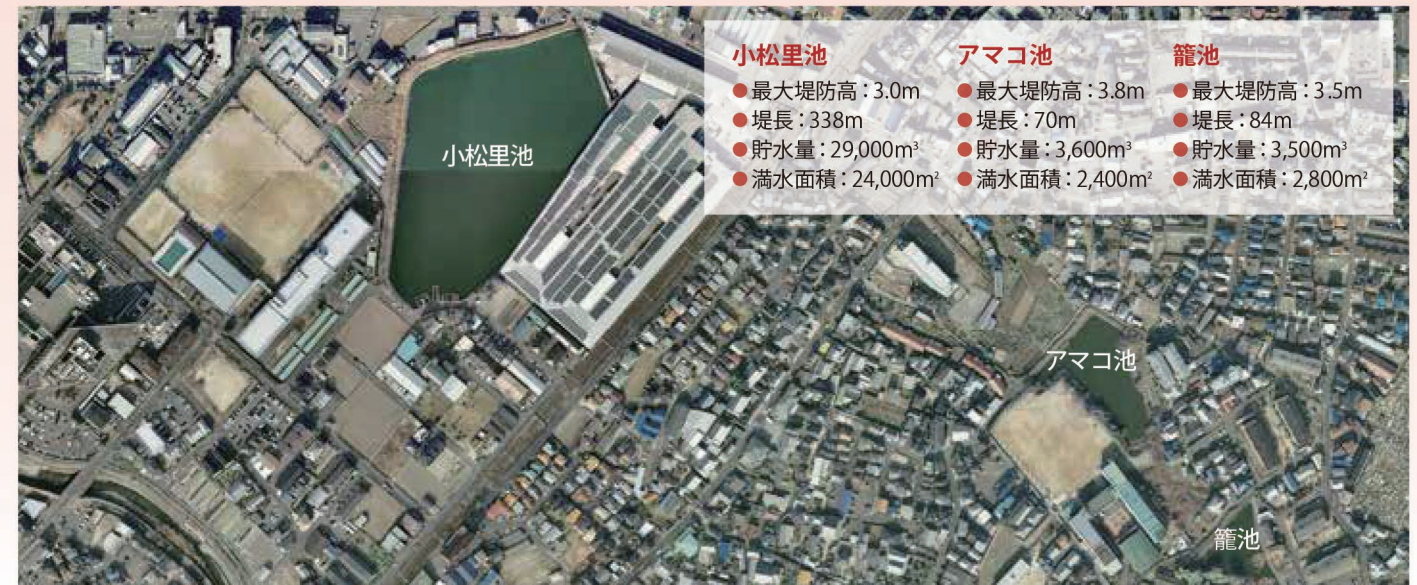
ため池ハザードマップ 保存版

小松里池

アマコ池・籠池

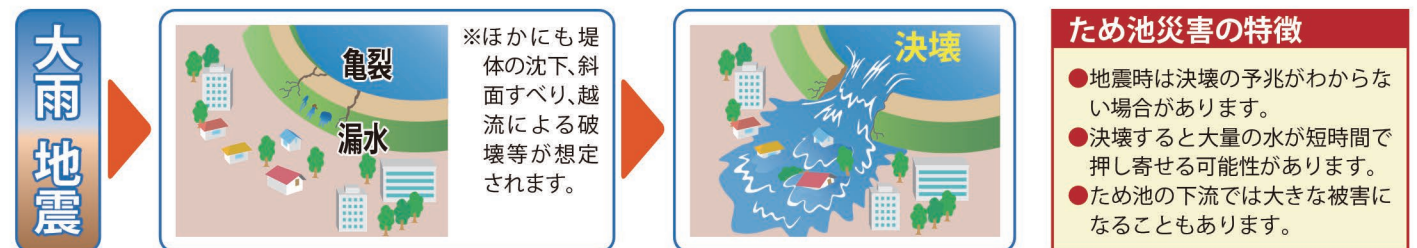
作成：令和4年3月

この「ため池ハザードマップ」は、小松里池、アマコ池・籠池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報を取りまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。



ため池決壊の原因と起こり方（大雨時や大地震のあとは注意しましょう）

ため池の整備規模を上回る大雨や大地震が発生した場合、ため池の堤体が損傷を受けることがあります。



ため池ハザードマップの活用方法（日頃から備えましょう）

1 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- 浸水深やはん濫水の到達時間に応じた避難を考えましょう。
- 災害時の様々な事態をイメージしましょう。



2 わが家の避難場所を決めておきましょう。

- 浸水深やはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- 浸水深が0.5m以上(1階の床上相当)の区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょう。



3 わが家の避難場所までの避難経路を考えましょう。

- 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- 避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。



4 日頃から家族や地域で話し合いましょう。

- 災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- 避難の際に支援が必要な要支援者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



5 防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- ため池決壊の原因となる大雨等の気象情報や防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。



6 市の公表している他のハザードマップもご覧ください。

- 岸和田市「総合防災マップ」には、地震・津波・風水害に関する防災情報を記載しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう。



